

地域との協働による高等学校教育改革推進事業 グローバル型 地域協働推進校

名古屋石田学園 星城高等学校

愛知県豊明市(名古屋市の南/桶狭間の合戦/人口約7万人)

豊明市の地域課題

外国人市民との多文化共生(人口比率 約4.5%)
高齢市民の健康福祉(人口比率 約26%)

星城高校の探究テーマ

* 各学年5クラスでの実践

『外国人市民と高齢市民が輝く新たな架け橋プロジェクト』

探究活動のキーワード 「共生」・「協働」・「協創」

Super Glocal Leader 育成活動 ⇒ SGL活動

人材育成像と地域協働コンソーシアム

SGL活動で目指す人材育成像

- ①異なる考えを容認し、**共生**しようとする人間
- ②他者と**協働**して問題解決を図ろうとする人間
- ③自らの考えを発信して多くの人々と新たなものを**協創**できる人間
- ④人との繋がりを大切にし、感謝のできる実践力に富んだ**地域のリーダー**

多文化共生

地域協働コンソーシアム

健康福祉

ARMS
株式会社

豊明市
青年
会議所

豊明
市役所

豊明市
国際交流
協会

豊明
高校

星城
高校

豊明市
教育
委員会

星城
大学

豊明市
商工会

株式会社
スギ薬局

豊明市
社会福祉
協議会

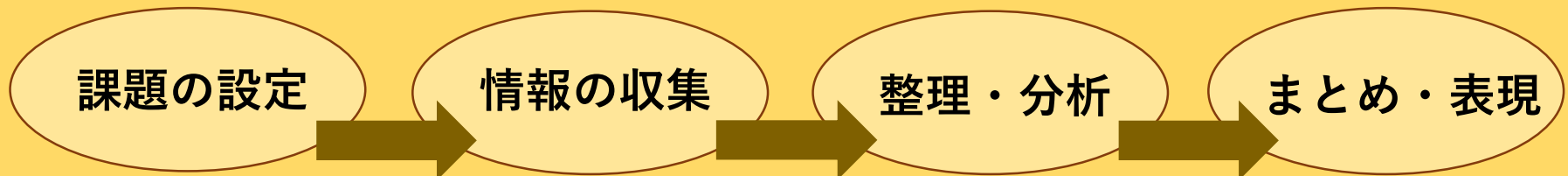
SGL活動(グローバル探究) 総合的な探究の時間

グローバルな視点をもって地域課題の解決に取り組む学び
提言だけでなく、地域での活動や実践を伴う学び

【星城高校におけるグローバルな学びの構想】



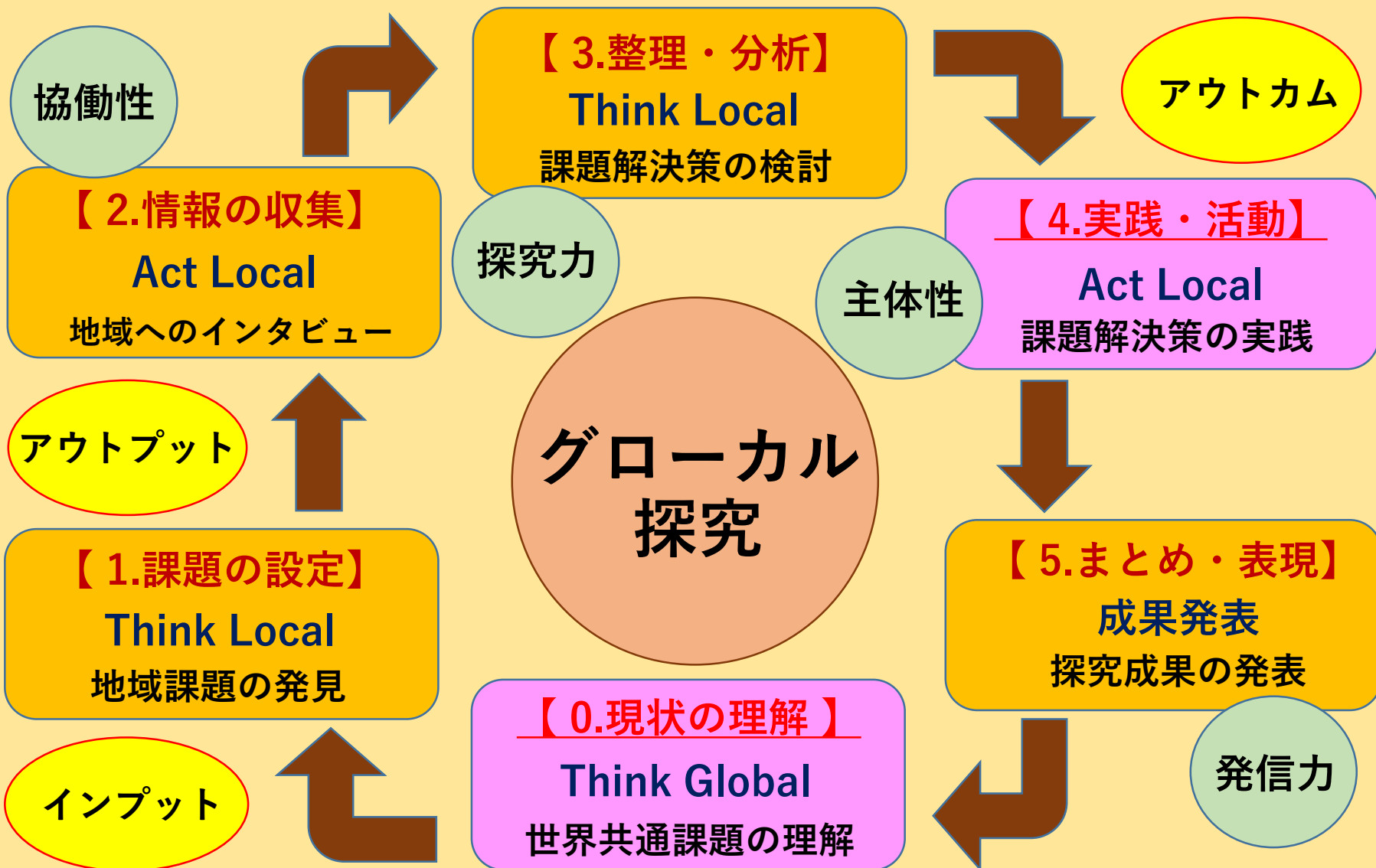
【探究的な学びのサイクル】



自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される

星城高校のグローバル探究で開発した探究のサイクル

【グローバルな学び】と【探究的な学び】の関係



各学年のグローバル探究(1,2年生：2単位、3年生：1単位)

【0.現状の理解】

Think Global

全学年

SDGs17の目標理解
JICA開発支援講座
各国オンライン研修



【1.課題の設定】

Think Local

1年 外国人/高齢者の課題検討
2年 関心分野別の課題検討
3年 現状で関心ある社会課題



【2.情報の収集】

Act Local

1年 地域行事でのインタビュー
2年 コンソーシアム内のインタビュー
3年 分野別進路の選択肢調査



【3.整理・分析】

Think Local

1年 協働花壇の企画立案
2年 啓発素材開発の立案
3年 関心ある課題と進路先



【4.実践・活動】

Act Local

1年 協働花壇プロジェクト
2年 地域協創プロジェクト
3年 将来の地域との関わり



【5.まとめ・表現】

成果発表

1年 ポスターセッション
2年 スライドでプレゼン
3年 探究論文集制作



2年生の地域協創プロジェクト 啓発素材開発

Class ①

×

ARMS
株式会社

×

星城大学
留学生

多文化共生



地域住民用
ベトナム人家
庭料理 **ベト
ナム料理動画**

Class②

×

株式会社
スギ薬局

×

愛知県立
豊明高校

健康福祉



高齢市民用
オリジナル健
康体操の開発
コッペパン体操

Class③

×

豊明市
健康長寿課

×

豊明市社会
福祉協議会

健康寿命



高齢市民用
俳句作家連盟
との大会開催
俳句コンテスト

Class④

×

豊明市
市民協働課

×

豊明市国際
交流協会

外国人市民



外国人住民用
受診可能な地
元の病院一覧
医療マップ

Class⑤

×

豊明市
産業支援課

×

豊明市商工会
・青年会議所

豊明市の観光



外国人児童用
地元名所と日
本語学習教材
豊明カルタ

Act Global 海外研修プログラムの開発(令和元年度のみ)

多文化共生を学ぶ マレーシア海外研修(7日間) 希望者30名参加



多人種・多宗教・多文化

大学生とのB&S

日本人会との交流

2年生用 第2外国語 ベトナム語学習の開発(令和3年度のみ)

星城大学のベトナム人留学生3名との授業開発と実践

ベトナム文化の紹介とベトナム語の文字・あいさつ・自己紹介など



Glocal High School Meetings

全国高等学校グローバル探究オンライン発表会

幹事校として文部科学省共催のグローバル型探究成果発表会を開催

2021年大会 参加校34校(日本語部門：29校 英語部門：30校)

2022年大会 参加校30校(日本語部門：27校 英語部門：26校)



地域協働コンソーシアムの役割

①生徒と地域課題のマッチング



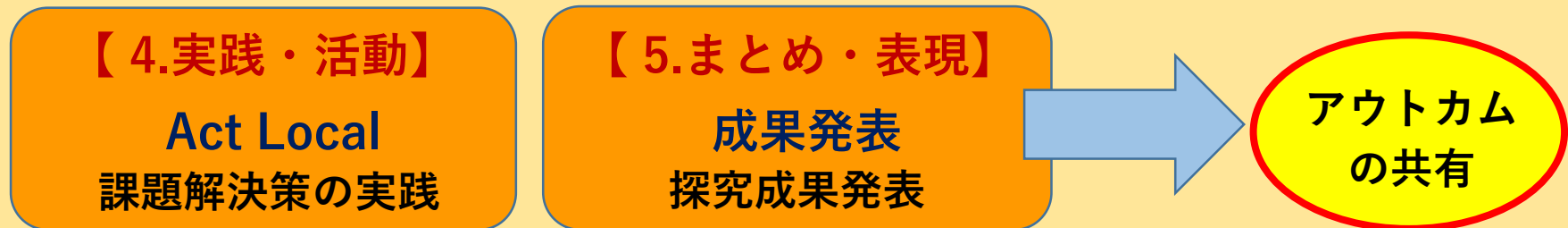
世界や地域の課題に関する様々な情報を提供し、課題発見へ導く

②課題解決策へのコンサルティング



情報収集への協力と課題解決のアイデアへ助言し、解決策立案へ導く

③解決策のアイデアシェアリング



生徒が考えた課題解決策を評価し、そのアイデアを共有する

研究開発の成果と今後の課題

研究開発の成果

1. グローバル探究の学びの過程を明確にし、それをカリキュラムに反映させることができた。
2. 地域協働コンソーシアムの役割を明確にし、地域課題解決のアイデアを共有する組織体にすることができた。
3. 全国高等学校グローバル探究オンライン発表会を立ち上げ、探究成果を共有する場をつくることができた。

今後の課題

1. コロナ禍のため、海外研修に関わる開発がほとんどできず、学びの過程の中に組み入れることができなかった。
2. 地域協働コンソーシアムの継続には、お互いの負担軽減やWin-Winの関係づくりに更なる工夫が必要となる。